

ブラジル・ウィークリー

2017年7月10日発行号
作成：日興アセットマネジメント



先週の ブラジル株式市場 の動き (7月3日～7月7日)

ブラジル株式市場は、ボブスパ指数で前週末比▲0.9%となり、週間ベースで2週ぶりの下落となりました。3日(月)は、ブラジル中央銀行のエコノミスト調査において、今年の政策金利見通しが引き下げられたことなどが好感され、上昇しました。4日(火)は、テメル大統領の側近が汚職捜査の一環で逮捕されたことを受けて、労働法改革法案の採決への悪影響などが懸念され、小幅に反落しました。5日(水)は、検察当局により訴追請求されているテメル大統領の起訴審理の長期化などが年金改革法案の採決に与える影響などが嫌気され、続落しました。6日(木)は、テメル大統領の辞任を求める動きが勢いを増し、政治的不透明感の高まりなどから、ボブスパ指数が前日比▲1.1%と週の中で最も大きく下落しました。7日(金)は、原油安が嫌気され、続落しました。

ボブスパ指数の推移

(2016年7月7日～2017年7月7日)



レアル(対円)の推移

(2016年7月7日～2017年7月7日)



7月7日時点(過去1週間=6月30日、過去1ヵ月=6月7日、過去3ヵ月=4月7日との比較)、なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

■当資料は、日興アセットマネジメントがブラジル株式市場などについてお伝えすることを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。